

令和3年度開始事業の事業完了報告書について

一般社団法人全国米麦改良協会

令和3年度に当協会の公益目的事業である「国内産麦の研究開発支援事業」に採択した2事業が令和7年度を以て5年間の事業(研究開発)期間が完了し、その間の成果となる事業完了報告書が提出されました。

協会では、この事業完了報告書を外部有識者からなる審査委員に審査を依頼し、2事業とも適切に事業が行われた旨の報告を受けました。

また、協会は、事業実施期間中、研究機関等に赴いての現地調査、成績検討会等への参加、進捗状況の聴取などを通じて事業の状況把握に努めてきました。

これら審査員の評価、協会の調査結果などを踏まえ総合的に判断した結果、2事業いずれも本事業の目的である「従来よりも加工的に優れ、収量や品質の高位安定化、病害虫や穂発芽などに抵抗性の強い品種の開発・育成」に十分寄与する研究開発事業であったと評価しました。

整理番号	研究開発のテーマ	事業実施者	助成金総額
令3-1	オール北海道で挑戦する穂発芽耐性と収量性が向上したポスト「春よ恋」系統の育成	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	103,968,000円
令3-2	国産大麦需要拡大のための消費者嗜好性に優れる麦茶等の大麦品種育成に向けた有望系統の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構	59,380,250円

注：助成金総額は、令和3年度から7年度に交付した助成金で物価高騰に伴う臨時的助成額を含む

個々の事業の事業完了報告書は、以下のリンクをクリックしてください。

[令3-1 事業完了報告書](#)

[令3-2 事業完了報告書](#)